

日本語マニュアル

RockBoard® MOD 4

All-in-One Wireless System Receiver + Patchbay for Pedalboards



RockBoard MOD 4

2.4 GHz Guitar Wireless Receiver + TRS Patchbay

RockBoard MOD 4 & U2 Transmitter

2.4 GHz Guitar Wireless Receiver, Transmitter + TRS Patchbay
(XVive U2 Transmitter included)

はじめに

RockBoard® MOD 4は、エフェクト・セットアップへの新たなワイヤレス・ゲートウェイです！
RockBoard® MOD 4 — ペダルボード用オールインワン・ワイヤレス・システム・レシーバー+パッチベイは、楽器とペダルボードの間で使いやすいワイヤレス接続を実現します。デジタル・ワイヤレス技術を採用しており、驚異的な音質、シンプルなセットアップ手順、そしてライブ活動を行うあらゆるミュージシャンにとって信頼性の高い使用感を提供します。
このワイヤレスシステムは、世界中で制限なく使用できる2.4 GHz ISMバンドで動作し、20 Hz~20 kHzの全周波数帯域をカバーし、レイテンシーはわずか5 msです。パッチベイモジュールは、ペダルボードの下側から前面へと接続をルーティングするように設計されており、一箇所に集約されたアクセスポイントを提供し、配線をすっきり整頓します。

注意事項

Power Supply

RockBoard® MOD 4 は、本体の背面にあるDC 入力端子に、9V DC電源 (センターマイナス) アダプタを接続して動作します。安全かつ安定した動作のためには、少なくとも 500 mAの電流が必要です。使用しないときや雷雨の際は、AC 電源アダプタのプラグを抜いてください。
XVive U2トランスミッターは、最大 5 時間連続使用が可能な3.7V、650 mAの充電式リチウムイオンバッテリーで動作します。バッテリーは、USB 壁用アダプター、または RockBoard® MOD 4 の前面にある USB Type A充電出力端子から充電します。緊急時には、トランスミッターの使用中にUSB アダプターから直接電源を供給することも可能ですが、バッテリーの寿命が短くなります。

Charging Time	Battery Life
15 分	30 分
30 分	1 時間
1 時間	2 時間
2 時間	5 時間

すべての機器は室温で保管してください。保管中は、定期的にバッテリーの状態を確認し、必要に応じて充電してください。
注意：過熱や機器の損傷を防ぐため、必ず正しい仕様の電源アダプターを使用してください。

Connections

接続や取り外しを行う際は、必ず他のすべての機器の電源を切ってください。これにより、使用中の機器の誤動作や損傷を防ぐことができます。

無線周波数干渉に関して

近くに設置されたラジオやテレビでは、受信障害が生じる場合があります。本機は、ラジオやテレビから適切な距離を置いて使用してください。本送信機は、他のアンテナや送信機の近くに設置したり、それらと併用して動作させたりしてはなりません。
注：本機器は、FCC規則第15部およびカナダのICES-003に基づき、クラスBデジタル機器の制限値に準拠していることが試験により確認されています。これらの制限値は、住宅環境での設置において有害な干渉から合理的な保護を提供することを目的としています。本機器は無線周波数エネルギーを発生、使用、および放射するものであり、取扱説明書に従って設置・使用されない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。

お手入れ

乾いた柔らかいクロスで拭いて下さい。

取り扱いについて

スイッチや操作部に過度な力を加えないでください。紙、金属、汚れ、その他の異物が本機やその接続部に接触しないようにしてください。本機を落下させたり、衝撃や過度な圧力がかからないよう注意してください。

変形、変色、その他の重大な損傷を防ぐため、本機を以下のいずれの条件にもさらさないでください：

- ・ 直射日光
- ・ 強い磁場
- ・ ほこりや汚れがひどい環境
- ・ 強い振動や衝撃
- ・ 熱源
- ・ 極端な温度
- ・ 高湿度または湿気

感電の危険

火災や感電の危険を避けるため、ネジを外さないでください。RockBoard® MOD 4の内部には、ユーザーが修理できる部品は一切ありません。修理は資格を持つサービス担当者のみが行ってください。本機を雨や湿気にさらさないでください。

FCC認証

本機器は、FCC規則第15部の規定に準拠しています。本機器の使用には、以下の2つの条件が適用されます。

- ・ 本機器は、有害な干渉を引き起こしてはなりません。
- ・ 本機器は、望ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、受信するあらゆる干渉を受け入れなければなりません。

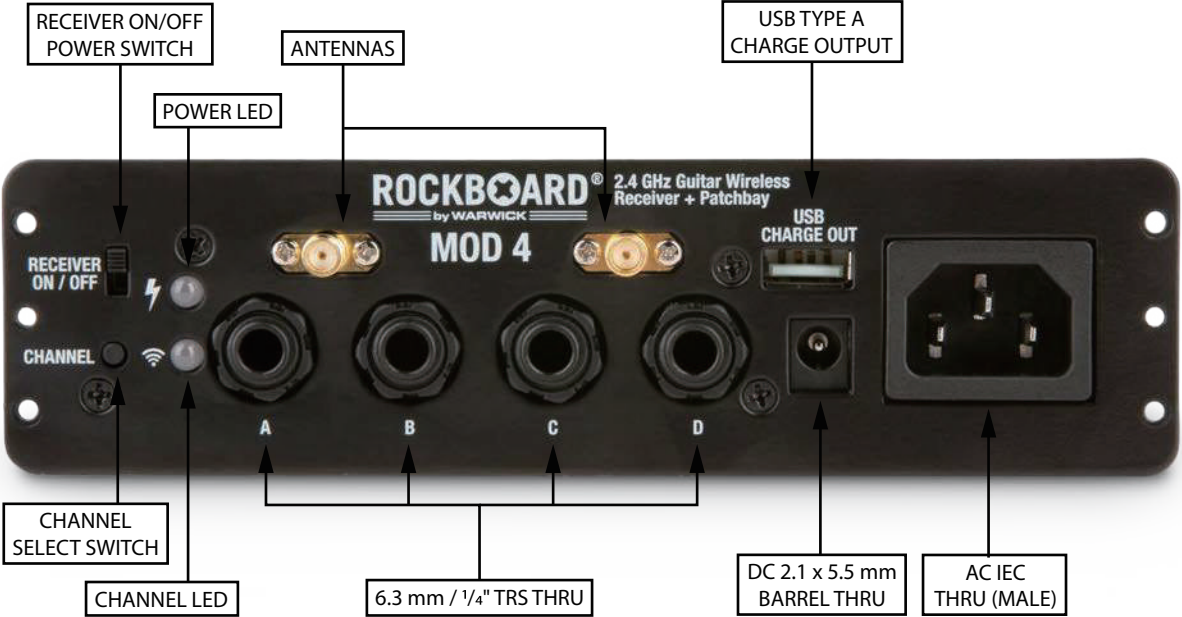
無線認証

FCC Part 15.249、RSS-210 (カナダ)、EN 300 440 (欧州)、EN 301.489 (欧州)、日本無線2.4GHz帯 (日本)、MIC ARIB STD-T66 (日本)

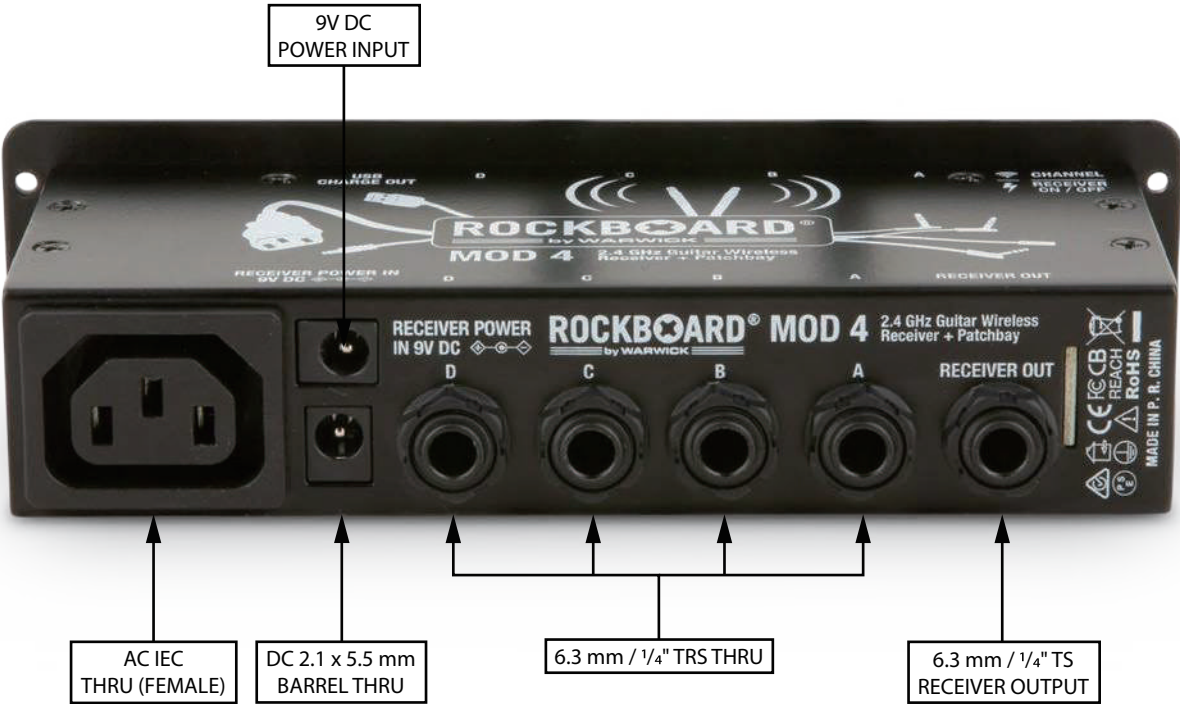
主な特徴

- ・ペダルボード用ワイヤレスシステムレシーバー+パッチベイ
- ・XVive U2 ギターワイヤレスシステムに対応
- ・世界中で使用可能な2.4 GHz ISM帯
- ・通信距離：約30 m / 100 ft. (障害物がない場合)
- ・24ビット/48 kHzの非圧縮デジタル伝送
- ・ダイナミックレンジ：103 dB以上
- ・RF感度：-85 dBm
- ・全高調波歪み率：0.2%
- ・4つのチャンネルから選択可能

Front



Back



Transmitter



取付方法

新しいMOD 4をRockBoard®ペダルボードに取り付ける方法はいくつかあります。MODスロット (DUOシリーズを除くすべてのRockBoard®ペダルボードに搭載) に直接取り付けるほか、MODのフロントプレートを取り外して、ペダルボードの上面または下面に取り付けることもできます。

RockBoard®に取り付ける方法

RockBoard®ペダルボードのMODスロットにMODを取り付けるには、以下の手順に従ってください。



STEP 1

RockBoard®ペダルボードのMODスロットのラバーを取り外します。



STEP 2

RockBoard®ペダルボードを裏返します。



STEP 3

MODの取り付けネジはセルフタッピング式で、RockBoard®の前面にあらかじめ開けられた取り付け穴に、ネジ自体がねじ山を切り込みます。TX10ドライバーを使用して、取り付けネジを締め込み、ねじ山を切り出してください。TX10ドライバーをお持ちでない場合は、MODにレンチが同梱されています。最初の数回転は、周囲の素材にねじ山を切り出す必要があるため、ネジが回りづらくなります。ネジを斜めに締め込まないようにご注意ください。



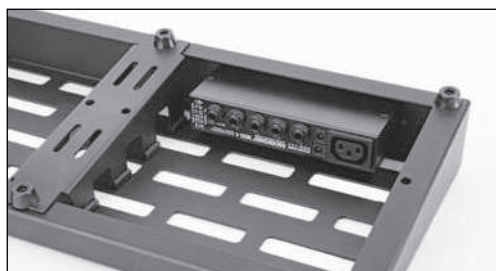
STEP 4

ネジの先端が穴の反対側から突き出し、ネジが回しやすくなったなら、ねじ山は適切に切れています。ここで、ネジを再び取り外してください。



STEP 5

次に、選んだMODを前面からスロットに挿入し、MODのフロントプレートが基板の表面と面一になるまで取り付けネジを締め付けます。



STEP 6

セキュリティを強化するため、裏側のカウンターナットをねじ込んでください。
これで、MODをセットアップに接続する準備が整いました！

重量のあるMODパッチペイをRockBoard®ペダルボードに安全かつ確実に取り付けるための簡単な解決策として、「RockBoard® MODプレース」(別売り)があります。RockBoard® MODプレースは、RockBoard®ペダルボードとの接続部分を補強することで、MODへの追加のサポートを提供するように設計されています。

MOD 4のフロントプレートの取り外し

RockBoard® MOD 4 - オールインワン・ワイヤレス・システム・レシーバー+パッチペイをペダルボードの上または下に設置するには、ボードの表面にぴったりと収まるように、フロントプレートを取り外す必要があります。



PH2のプラスドライバーを使用して、マークの付いたネジを外し、MODからフロントプレートを取り外してください。
ジャックソケットの取り付けナットは外す必要はありません！



RockBoard®以外のペダルボードに取り付ける方法

MOD 4をRockBoard®以外のペダルボードに取り付ける方法はいくつかあります。面ファスナーテープやその他の再利用可能な留め具を使用して、ボードの表面に直接取り付けることができます。さらに、RockBoard®では、他社製のペダルボードの上、内部、または下部にMOD 4をさまざまな方法で取り付けることができる「MOD Rack」(別売) もご用意しています。RockBoard® MOD Rackを使用してMOD 4を取り付ける場合は、MOD RACKの取扱説明書をご参照ください。RockBoard®以外のペダルボードの上にMOD 4を取り付ける場合は、以下の手順に従ってください。



STEP 1

ネジを外して、MODのフロントプレートを取り外してください。



STEP 2

MOD 4の底面に、粘着式フックテープまたはその他の再利用可能な留め具を取り付けてください。



STEP 3

MOD 4を設置したいペダルボードの上面または下面の場所に、粘着式のループテープやその他の再利用可能な留め具を取り付けてください。

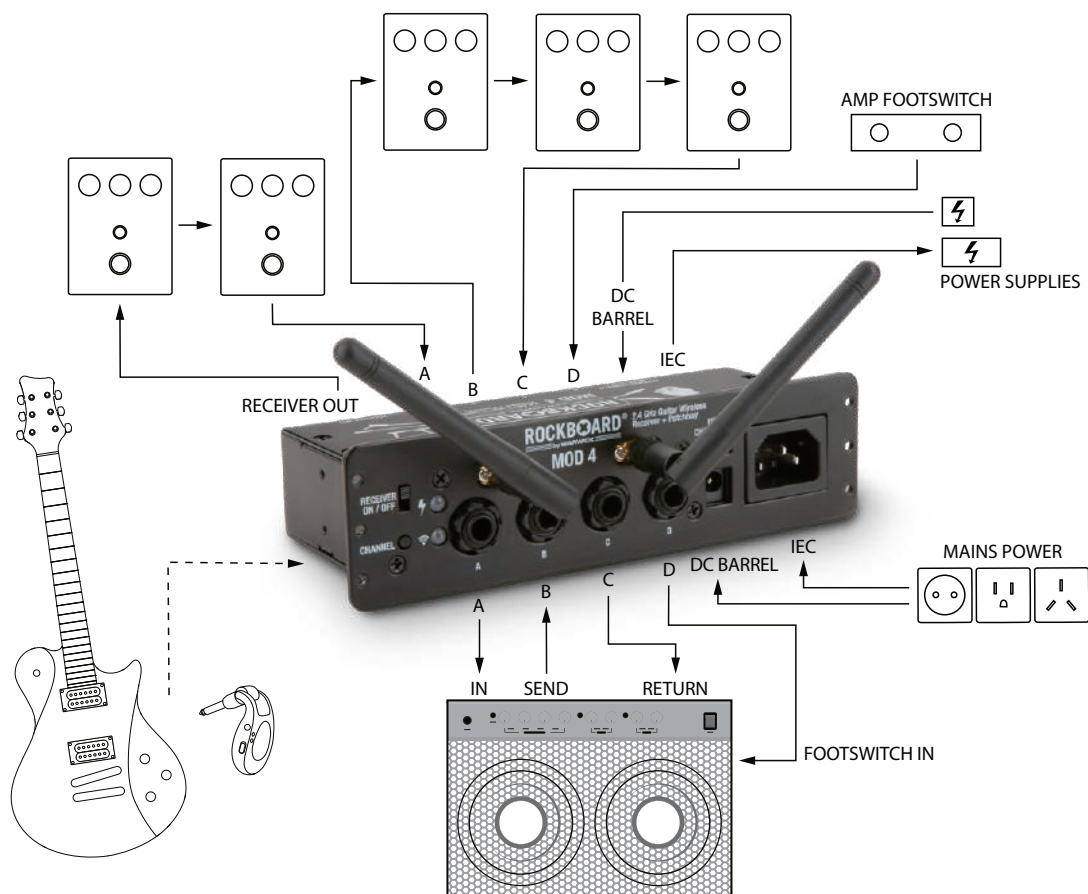


STEP 4

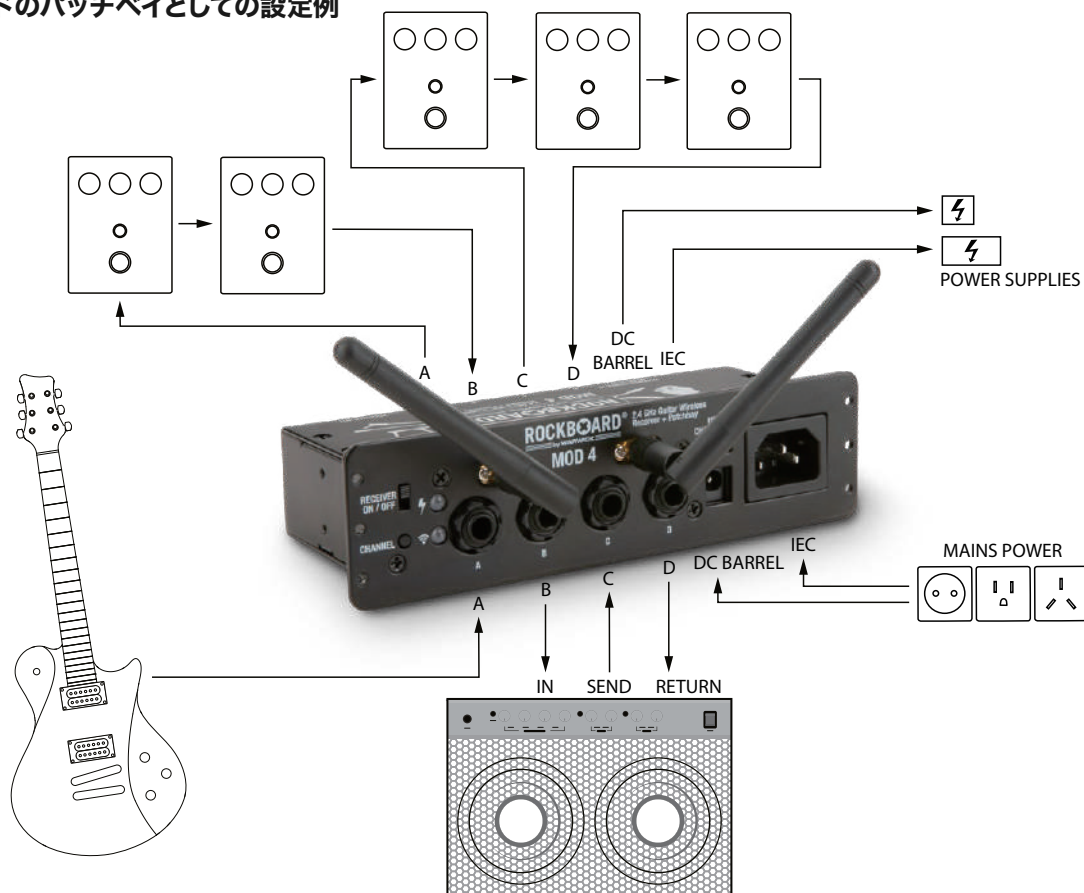
粘着式フックテープやその他の再利用可能な留め具の両面を合わせ、MOD 4をペダルボードに取り付けてください。
これで、MOD 4をセットアップに接続する準備が整いました！

Setup & Operation

ワイヤレスシステムとしての設定例



ペダルボードのパッチベイとしての設定例



Thru-Connections

RockBoard® MOD 4 - ペダルボード用オールインワン・ワイヤレスシステム・レシーバー+パッチベイは、エフェクト・セットアップの中枢となるアクセスポイントとして機能するように設計されています。A、B、C、Dの各TRSソケットは、MOD 4の前面から背面の対応するソケットへと配線が貫通する構造になっています。これにより、ペダルをボードの下に恒久的に接続しておくことが可能となり、ライブのセットアップ時にボードの下にケーブルを配線する手間が省け、ボードの前面への接続のみを行えば済みます。

4つのスルー接続端子はすべて、どちらの方向でも使用でき、制御信号だけでなく、モノラルまたはステレオのオーディオ信号にも使用できます。A、B、C、Dの各ソケットには、さまざまな設定方法があります。

4本のケーブルを用いた設定例については、「設定例」セクションをご覧ください。お使いのエフェクト・リグに応じて、A、B、C、Dの各ソケットには他にも多くの活用方法があります。

MOD 4と併用する他の機器の仕様や用途に合わせて、ぜひ自由に試してみてください。

Wireless System

RockBoard® MOD 4 は、パッチベイ・モジュールと併用可能な、完全に独立したワイヤレスシステムを搭載しています。ワイヤレスシステムを使用するには、以下のクイックスタート手順に従ってください：

- 9V DC電源（センターマイナス、最低500 mA）をMOD 4の電源入力端子に接続し、MODの電源を入れます。
- アンプやエフェクトペダルなどを6.3 mm / 1/4" TSレシーバー出力端子に接続します。
- XVive U2トランスミッターを楽器の出力ジャックに差し込んでください。
- XVive U2トランスミッターの電源を入れ、青色LEDの点滅回数を確認し、トランスミッターとレシーバーの青色LEDが同じ点滅パターンを示していることを確認してください。これにより、トランスミッターとレシーバーが同じチャンネルに設定されていることがわかります。接続が成功すると、青色のチャンネルLEDが点灯したままになります。
- 演奏を始めましょう！

1. 基本的な操作とステータスLED

XVive U2 トランスミッターには、2つのステータスLED（赤色の電源/バッテリーLEDと、青色のチャンネル/信号インジケータLED）が搭載されています。赤色のLEDが点灯している場合は電源が入っていることを示し、赤色のLEDが点滅している場合はバッテリーの充電が必要であることを示します。充電中は赤色のLEDが点滅し、トランスミッターが完全に充電されると点滅が止まり、消灯します。電源が入っているときは、青色のLEDが点滅して設定されたチャンネルを示します。

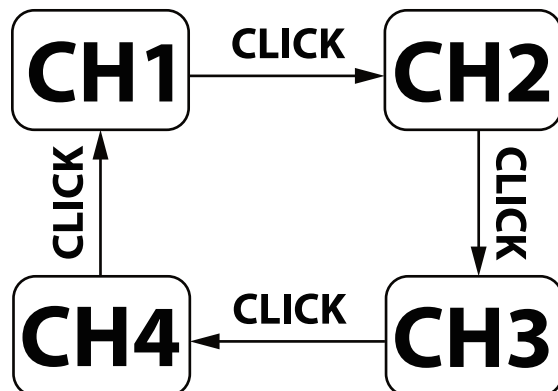
チャンネル選択機能を使用する場合、青いLEDが点滅してチャンネルを示します：

- チャンネル 1 – チャンネル/信号インジケータ LED が 1 回点滅します。
- チャンネル 2 – チャンネル/信号インジケータ LED が 2 回点滅します。
- チャンネル 3 – チャンネル/信号インジケータ LED が 3 回点滅します。
- チャンネル 4 – チャンネル/信号インジケータ LED が 4 回点滅します。

送信機と受信機が接続されると、MOD 4の青いLEDが点灯したままになります。MOD 4の青いLEDが点滅し始めた場合は、信号が弱い、妨害を受けていることを示しています。

2. チャンネルの選択

チャンネル選択スイッチをダブルクリックして、チャンネル選択機能を有効にします。以下の図に従ってチャンネルを設定してください。その間、チャンネル/信号インジケータLEDが点滅し、選択されたチャンネルを示します。



3. チャンネルの概要とワイヤレスパフォーマンス

RockBoard® MOD 4およびXVive U2トランスミッターは、2.4 GHz ISM帯 (Wi-Fi、Bluetooth、その他のワイヤレス機器でも利用されている帯域) で動作します。

2.4 GHzはオープンバンドであるため、世界中で利用するのに免許は不要です。

4. ワイヤレスシステムのパフォーマンスを向上させるためのヒントと方法:

- ・RockBoard® MOD 4と、ルーターやブースターなどの他のWi-Fi送信機との間には、3メートル以上の距離を保ってください。
- ・他のWi-Fi製品との干渉を避けるため、チャンネルを変更してください。
- ・他のWi-Fiシステムによる環境干渉が発生した場合、レシーバーと送信機ユニット間の距離を短くしてください。

5. 2.4 GHz frequency table:

Channel 1 – 2402 MHz, 2480 MHz, 2482 MHz
Channel 2 – 2408 MHz, 2472 MHz, 2474 MHz
Channel 3 – 2420 MHz, 2456 MHz, 2458 MHz
Channel 4 – 2432 MHz, 2448 MHz, 2450 MHz

Specifications

- ・ペダルボード用オールインワン・ワイヤレスシステム (レシーバー+パッチベイ)
- ・世界中で使用可能な2.4 GHz ISM帯
- ・通信距離: 約30 m / 100 ft. (障害物がない場合)
- ・24ビット/48 kHzの非圧縮デジタル伝送
- ・ダイナミックレンジ: 103 dB以上
- ・RF感度: -85 dBm
- ・全高調波歪率: 0.2%
- ・20 Hz~20 kHzの周波数範囲
- ・5 msのレイテンシー
- ・4つの切り替え可能なチャンネル
- ・RockBoard®ペダルボードのMODスロットに適合
- ・他のさまざまなペダルボードにも対応
- ・セットアップとのすべての接続を1か所に集約
- ・エフェクトセットアップの中央アクセスポイントとして機能
- ・ケーブル配線をすっきり整える・ペダルボードの上面または下面に取り付け可能な着脱式フロントプレート
- ・XVive U2 ギターワイヤレスシステムに対応
- ・アンテナ2本、USB充電ケーブル、取り付け用ネジ、カウンターナット付属
- ・電源は9V DCアダプター (センターマイナス) を使用
- ・消費電流 500 mA

- ・ **サイズ**

175 x 85 x 47 mm

160 x 85 x 33 mm

- ・ **重さ**

500 g / 1.1 lbs

- ・ **Connections:**

4x 6.3 mm / 1/4" stereo thru (TRS)

1x 6.3 mm / 1/4" mono receiver audio output (TS)

1x DC 2.1 x 5.5 mm barrel thru

1x AC IEC thru

1x USB Type A charge output

注: メーカーは、予告なくこれらの仕様を変更する権利を留保します。

正規輸入代理店

Quanta Intl.

サポートはこちら
<https://quanta-intl.jp/support/>



WARRANTY POLICY

この度はRockBoard by WARWICK製品をお買い上げいただきまして
まことにありがとうございました。

本品は厳密な製品検査に合格したものです。

御使用中に故障した場合は下記保証規定に従い修理・調整致します。

- 1 — 本保証書の有効期限はお買い上げ日より1年間です。
- 2 — 本保証書は日本国内のみ有効です。
- 3 — 保証期間内でも次の場合の修理は有償となります。
 - a. 消耗品（電池、真空管、パーツ等）の劣化による交換。
 - b. 保証期間が満了しているパーツが原因による故障。
 - c. お取扱い方法が不適当なために生じた故障。
 - d. お買い上げ後の運搬、落下や加重等による損傷、故障。
 - e. 天災（火災、浸水、地震、落雷等）による故障・破損。
 - f. 発電機の使用による故障。
 - g. 故障・破損の原因が本製品以外の機器にある。
 - h. メンテナンス不足による故障。
 - i. 指定外の者による改造、調整、部品交換などがされている。
 - j. 指定外の者による修理、調整、部品交換などにより生じた故障。
 - k. 保証書の字句が書き換えられている。
 - l. 保証期間内においても、保証書のご提示が無い。
 - m. 取扱説明書における禁止/注意事項を行ったために起きた破損
- 4 — 修理中の代替品や商品の貸出し等は、いかなる場合におきましても一切行っておりません。
- 5 — 保証書に購買日付、購買店舗等の記入が無い場合は無効となります。記入できない時はお買い上げ年月日・店名が証明できる領収書等と一緒に保管して下さい。
- 6 — 保証書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管して下さい。

